

会 議 録

【会議名称】

令和5年度第1回坂戸市地域福祉計画審議会

【開催日時】

令和5年7月28日（金）午前10時00分から午前11時30分

【場 所】

坂戸市役所 3階 303・304会議室

【出席者】

委員15名中14名

【傍聴人数】

0人

【内 容】

- (1) 坂戸市地域福祉計画（第3期）進捗状況について
- (2) 坂戸市地域福祉計画（第4期）策定について
- (3) その他

【配付資料】

- 資料1-1…【第3期坂戸市地域福祉計画 取組一覧】令和4年度実績報告
資料1-2…【第3期坂戸市地域福祉計画 取組一覧】令和5年度事業計画
資料2-1…市民くらし安心カードの仕組み
資料2-2…市民くらし安心カード（様式）
資料2-3…市民くらし安心カードの回収状況について
資料 3 …救急情報カード
資料 4 …地域福祉計画について

委 嘱 状 交 付

委嘱状の交付（新任委員のみ）

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 質 問 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会
市長	2 挨拶
会長	挨拶
市長	3 諮問書の手交
事務局	<p>4 議題 (1) 坂戸市地域福祉計画（第3期）進捗状況について</p> <p>資料1-1、1-2に基づき説明。</p> <p>委員からの質問及び意見はなし。</p> <p>市民くらし安心カードの回収状況について</p> <p>資料2-1～3に基づき説明。</p>
委員	<p>私も救急情報カードを冷蔵庫に貼ってある。もう一枚は病院に行くとき用のバッグに入れてある。去年、夫がコロナで救急搬送された際、慌てて、このカードを持っていることすら忘れてしまっていた。救急隊員が、カードを持っているかの確認をしてくれれば思い出したかもしれないが、いざという時にはとっさに出てくるものではない。当事者になると病院のことばかりになり慌てふためいてしまうので、救急隊員の方から助言頂ければと思う。</p>
事務局	<p>救急隊員の方にも周知されていくよう担当課である高齢者福祉に伝える。</p>
委員	<p>市民くらし安心カードと救急情報カードの配布の取組は素晴らしい物だと思っている。特に市民くらし安心カードの保有率は50%近くあるので大変心強いものだと思っている。</p> <p>ただし、一方で、救急情報カードについては、坂戸市の75歳以上の高齢者に配布すること。坂戸市の65歳以上の高齢者はおそらく29,000人、国の75歳以上の高齢者数は、現在大体65歳以上の高齢者数の53%程度だと推測される。そこから推計すると、坂戸市の75歳以上の高齢者は</p>

	<p>15,000 人程度でないか。それで配布者数が 1,836 名なので、極めて配布率が少ないのではないか。配布率についてぜひ考えていただきたい。</p> <p>一方で、カードの紙が薄く、もっと紙質を良いものにしてもらえないかと考える。例えば、飛行機の搭乗券でも、薄いものだとすぐなくしてしまう。サイズを小さくすればいつでも持ち歩けるのではないか。コストはかかるかもしれませんが、可能な限り改善していただきたいと思う。以上、よろしくお願ひしたい。</p>
事務局	<p>まず配布の割合が少ないのではないかとのご指摘だが、資料はあくまで令和 4 年度の状況であり、それ以前に 75 歳に到達した方にはすでに配布をしている。紙質及びサイズについては、意見を頂戴したと担当の高齢者福祉課に伝えるが、複写式は書くのが 1 回で済むという利点もある。</p>
委員	<p>先ほどから議論されている紙質などの話についてだが、マイナンバーカードに紐づけるという話はでていないのか。今後の方向性についてお願ひしたい。</p>
事務局	<p>マイナンバーの利用については、様々な制約がある。本来の目的以外のものについては、市が独自で利用する場合、条例で定めたいうえで、活用するようになっている。他市や全国的には、健康づくりに関することで条例を制定してマイナンバーを活用している事例もあるようだが、現時点では本市ではそのような動きはない。</p> <p>ただこれは今後の大きな話として研究課題になると考えている。引き続き先進事例等も出てくると思うので、関係課にもご意見いただいたことを伝える。</p>
委員	<p>先ほどの議論に関連するが、買い物するとき等、バッグにつけて携帯する形が良いのではないか。東京都には、赤いカードの中に黄色い紙を入れ携帯できるものがある。携帯できるものがあれば、その人が見たときにわかりやすいのではないか。もう一点、家の中で冷蔵庫だけではなく、玄関のドアに貼っておくのはどうか。玄関にあると救急の方が来た時にわかりやすいのではないか。1 か所ではなく、わかりやすいところに置くというのもいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>こちらのご意見についても担当課に伝える。</p>
委員	<p>救急情報カードについて、緊急連絡の発信元及び発信先が全て高齢</p>

事務局	<p>者という場合に、発信先をどの程度拡大すればよいのか。隣組が8件あって一番若いのが私で、それ以外は全員80代。そうした場合の発信先の範囲をどの辺まで絞ってという心配がある。</p> <p>緊急連絡先として、現在発信先への年齢等の制約はない。1世代前の方が良いのではないかということもあると思うが、大事なはその方の状況やつながりがある方でないと緊急連絡先になりえないので、そこに重きを置いてご案内をしている。</p> <p>公民館にも用紙が置いてあるので、新しい情報を書いて更新していただきたい。なお、玄関に貼るという意見も先ほど委員からあったが、必ず見る場所に貼ること自体に意味があると考えます。いただいた意見は、高齢者福祉課にも伝えさせていただく。</p>
事務局	<p>(2) 坂戸市地域福祉計画(第4期)の策定について</p> <p>資料4に基づき説明。</p> <p>委員からの質問及び意見はなし。</p>
コンサル	<p>資料5に基づき説明。</p>
委員	<p>問41の防災に関するもの。現在気になっているのが、最近あちこちに住まなくなった空き家が目立ってきた。問41は現在8番までの選択肢が9番目の選択肢に空き家対策についての対処などを入れるのはどうか。</p>
事務局	<p>空き家対策についてこれから重要になってくる課題だと認識している。現在この空き家対策に対しては、住宅政策課で条例を制定しており、一定期間空き家の状態が続いた場合に市の条例に基づいて、調査や強制的な措置等ができるような運びになっている。今回、防災という部分に特化してしまうと、アンケートをとりたい内容と少し離れてしまうため、この空き家の件については自由意見の方で意見をもらう形とさせていただく。</p>
委員	<p>最初のページについて。今回の調査18歳以上から2,000人、無作為に抽出という事だが、年齢層の配分を考慮しているのか。若い人が多くなったり、高齢者が多くなったりすると、調査の結果に影響してくるのではないか。あと、重層的支援体制整備事業やマイタイムライン等。行政用語が多すぎてよくわからないところがある。</p>

事務局	<p>まず、対象者抽出は、市民課に依頼しており、年齢や性別、地域などバランスが取れる様に統計的に抽出している。</p> <p>また、用語が難しいという件については、重層的支援体制整備事業等は確かに言葉が分かりづらい点はあるかと思う。行政側も政策等立てるときには、用語も分かりやすいものになるよう努める。</p> <p>マイタイムラインは市民自ら災害に備え、事前に計画しておき、災害時にはタイムラインに基づいて行動ができるようにするための冊紙であり、全世帯、広報を通して配布をしている。防災安全課で担当している。</p>
委員	<p>市民アンケート7ページの間 25 福祉の心を育むための設問について。子供についてではなく大人も対象の設問でよいか。</p>
事務局	<p>こちらの項目は前回の計画のアンケートから継続してとっている。</p> <p>18 歳以上の方、ご高齢の方や子供達にどういうことをした方が良いか、あるいは福祉施設の見学等、あらゆる世代に考えていただき、全体として、こういうことをやっていけば良いのではないかというご意見を頂戴する間であり、割合が高い選択肢が、興味のある市民が多いという事であり、新たな取組の材料となると考えている。</p>
委員	<p>民生委員、児童委員の説明。「生活課題の解決にあたりとともに」という部分に引っかかっている。解決にあたるのは民生委員・児童委員ではないと言われているが、この表記は誤解をうけるので改めていただきたい。</p>
事務局	<p>表現について、改めさせていただく。</p>
会長	<p>他に意見がないようであれば、市民アンケートについての議題を終了する。</p>
事務局	<p>(3) その他 その他委員から意見等あるか確認。 今後のスケジュールについて説明。</p>
	<p>6 閉会</p>